個人情報

所属学会

- 日本物理学会、応用物理学会、アメリカ物理学会、英国物理学会

受賞等

- アメリカ物理学会フェロー称号(1995.11)「For contributions to the understanding of the dynamics of fractal structures and of the Kapitza resistance at mK temperatures」
- 英国物理学会フェロー称号(1999.11) 「For contributions to the development of condensed matter physics」
- Alexander von Humboldt Research Fellow Award (1978.12)

学位

- 工学博士（北海道大学）1973 年 3 月

  論文題目：六方晶セレン、テルルの原子間結合と格子力学

学会活動

- (社)応用物理学会理事（2004-2006）
- (社)応用物理学会評議員（2006-現在に至る）
- (社)応用物理学会評議員（1998.4-2004.3）
- (社)応用物理学会北海道支部· 支部長(2001.4-2003.3)
- (社)応用物理学会 教育· 公益事業アドバイザー(2004.3-2005.3)
- (社)応用物理学会 業績賞委員 （2004.4- 2006.3）
- (社)日本物理学会ジャーナル編集委員(1997.4-1999.3)
- (社)日本物理学会代議員(2000.4-2005.3)

資格等

- Chartered Physicist（英国物理学協会）(1996)
- 日本工学教育協会特別教育士(2006)

  他

学術活動

- Chairman of the 8th International Conference on Phonon Scattering in Condensed Matter (1995)
- Chairman of the 4th International Conference on Phonon Physics (1995)
- External Examiner for Doctor’s Thesis, The Chinese University of Hong Kong
- Advisory Committee of International Conference on Phonon Scattering in Condensed Matter,
- 新潟大学自然科学研究科外部評価委員会委員長
- 日本学術振興会審査会専門委員
- 文部科学省学術審議会専門委員
- 総合研究大学院大学博士論文審査委員
- アメリカ物理学会学術専門誌査読委員
- ヨーロッパ物理学会学術専門誌査読委員
- 東京大学物性研究所スーパー· コンピュータ共同利用課題審査委員
- 総合研究大学院大学博士論文審査委員
- 物性物理グループ百人委員会委員

他

社会貢献

- 北海道大学工学部同窓会理事長(2003.4-2004.3)
- 日本工学教育協会常任理事(2006.4-2008.3)
- 北海道大学工学部同窓会幹事(2002.4-2003.3)
- 北海道大学工学部同総会顧問(2004.4-)
- 日本工学教育協会常任理事(2006.4)
- 札幌銀行中小企業新技術助成基金技術審査委員会審査委員(2004.4-2006.3)

他

他大学非常勤講師

名古屋大学大学院工学研究科　名古屋大学大学院理学研究科　大阪大学理学研究科大学院　東京大学大学院理学研究科　お茶の水大学大学院理学研究科　島根大学理工学部　新潟大学工学部　北海道教育大学　室蘭工業大学大学院　北海道工業大学

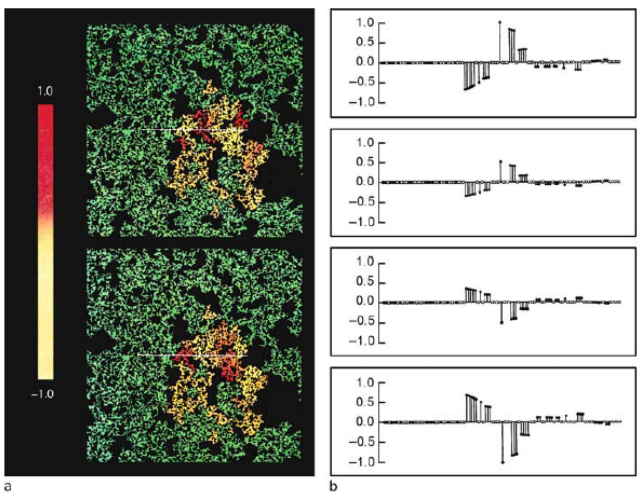
教育活動

教育研究評議会委員 部局長連絡会議委員　教務委員会委員 国際交流委員会委員 研究推進委員会委員 21 世紀 COE 推進委員会委員 人事委員会委員　留学生専門教育委員　入学者選抜委員会委員　高等教育機能開発総合センター運営委員会委員　北海道大学事業場札幌キャンパス安全監督者委員　教務委員会委員 研究推進委員会委員　観光学高等研究センター運営委員会委員　北海道大学情報処理教育センター運営委員会委員　北海道大学言語文化部共同利用委員会委員　北海道大学大学院理学研究科物理学専攻設置準備委員会委員　北海道大学量子干渉方式伝道度領域磁化測定研究室運営委員会委員　北海道大学量子界面エレクトロニクス研究センター運営委員会委員　北海道大学量子界面エレクトロニクス研究センター点検評価委員　他

研究成果

1．フラクタル構造における「フラクトン励起」概念の確立

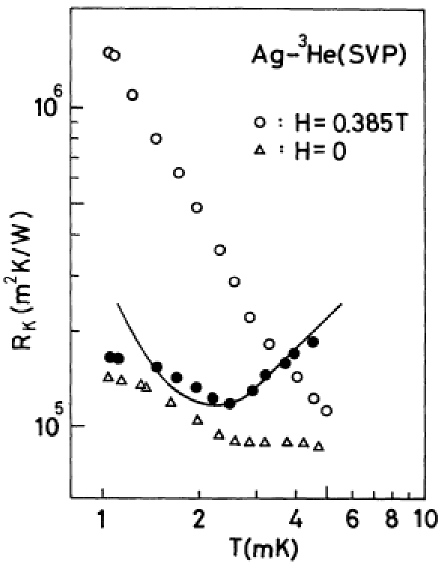
20 世紀の物理学の展開を振り返ると、研究対象が分子から原子、そして原子核からクオークへと、より微小なものの探査に向けられた一方、凝縮系物理学で生み出された対称性の破れという概念を取り込み、宇宙創生の解明に関する研究につながるなど、その成果は人類史に残るものであると云えよう。しかし 1980 年代に入り、このようなスケールの大小にかかわらず自然を支配する普遍的な法則があることも明らかになり、この分野の研究は大きく進化する。「フラクタル」と名付けられたスケール不変な構造は、宇宙空間の星雲の分布から原子･ 分子凝集体に至るまで自然界に多く見いだされることになった。1980 年代半ばからの中山と矢久保による共同研究により、フラクタル構造に特有なダイナミックスを支配するフラクトン励起の特性が明らかになった。これらのパイオニア的研究は、フラクタル構造のダイナミックスに関するその後の実験的･ 理論的研究を主導した。これにより、ランダムに見えるフラクタル構造に、単純な法則性が存在することが明らかになり、不規則系物理学分野の概念を一変させた。これらの一連の研究成果は、「Dynamical properties of fractal structures: scaling, numerical simulations and physical realizations」のタイトルのもと、物理学のコミュニティーでもっとも重要とされる総合報告誌「Reviews of Modern Physics」の 66 巻(1994)　pp. 381-443 に T. Nakayama, K. Yakubo, and R.Orbach の共著論文として報告された。この論文は現在でも様々な研究分野で広く引用されている。



図： 2 次元パーコレーションで励起された強局在フラクトン． コンピュータによる大規模計算結果．

2．ミリケルビン低温領域における熱交換メカニズム「異常カピッツア抵抗」の解明

近年、希釈冷凍機の普及により、ミリケルビン領域での物性測定は数 10 年前に比べずいぶん身近なものとなってきた。その理由は、希釈冷凍機の性能が飛躍的に上がったことがあげられる。熱交換効率を上げるには「液体 He^3 あるいは He^3 -He^4 希釈混合液と金属微粒子焼結体」からなる熱交換器の熱交換効率を高めなければならない。云いかえると低温になるとともに大きくなるカピッツァ界面熱抵抗を下げなければならない。熱交換効率を測る物理量であるカピッツア抵抗に、1mK 近くの超低温で異常が発見されたのは 1975 年のことである。爾来、超低温での熱交換の物理的機構の解明は、極低温物理学や極低温工学の分野で焦眉の課題であった。1980 年代初頭、中山は、超低温でのカピッツア抵抗において「He^3 核スピンと銀微粒子焼結体表面に化学吸着した酸素分子間の磁気的相互作用」が効いていることを理論的に予言した。その後、1996 年度のノーベル物理学賞受賞者であるスタンフォード大のオシェロフ教授達ならびにコーネル大学のリチャードソン教授達によるカピッツァ抵抗の磁場依存性に関する実験検証により、この機構の正しさが立証された。これらの一連の仕事は、低温物理学のコミュニティーにおけるもっとも著名な総合誌「Progress in Low Temperature Physics」12 巻 (1989) pp.117-194 に「Kapitza thermal boundary resistance and interactions of helium quasiparticles with surfaces」のタイトルのもと出版されている。



図：カピッツア抵抗 R_k の理論曲線 (---) と実験値 (●). 磁気チャンネルの存在が確立した . (1986 年)

3．大規模行列の固有値問題に対する数値アルゴリズム「強制振動子法」の開発

1980 年代の後半、中山は運動方程式の時間発展運動方程式を扱う分子動力学的方法が、「10^6x10^6 の大規模行列の固有値問題、すなわち固有値ならびに固有関数の計算、そしてスペクトル状態密度の計算において、どの方法よりも効率的である」ことを実証した。共同研究者の矢久保とともに、この方法をフラクタル構造のダイナミックスの研究に適用し、フラクトン励起の研究において世界を先導することになった。アルゴリズムの単純さに注目し、非エルミート行列の固有値問題へのこの方法の適用、並びに大規模量子系の線形応答関数の計算、すなわち久保公式の計算アルゴリズムの開発を行った。現在、このアルゴリズムは、強制振動子法(The forced oscillator method)とネーミングされ、物理の分野ばかりでなく、化学、電子工学などの分野で用いられている。強制振動子法の具体的なパーフォーマンスは、総合報告誌「Physics　Reports」の 349 巻, (2001), pp.239-299 に「The forced oscillator method: Eigenvalue analysis and computing linear response function」のタイトルのもとに T. Nakayama and K. Yakubo の共著として発表されている。

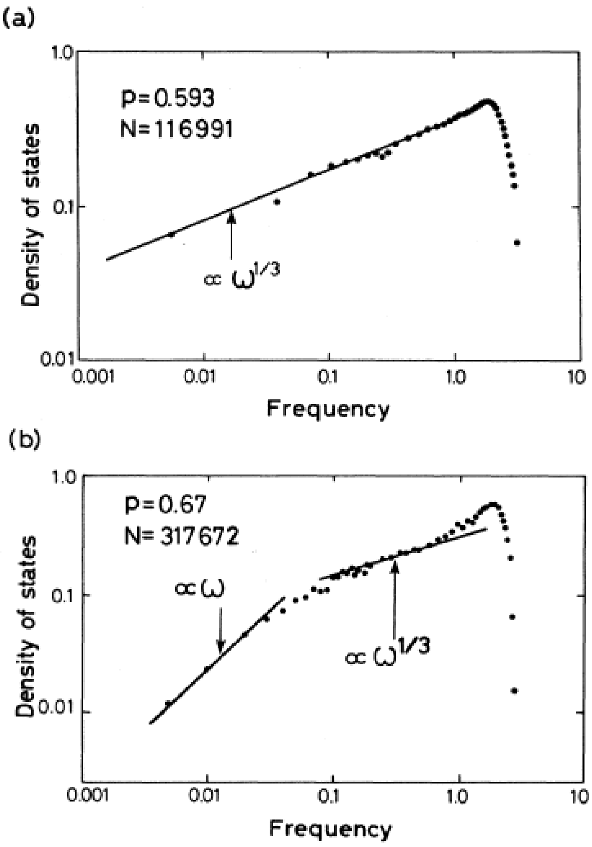
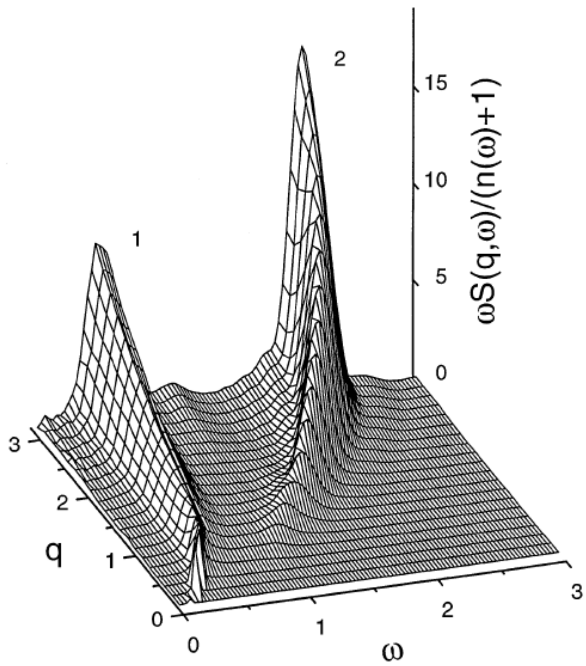


図 : 大規模 2 次元パーコレーションにおける状態密度の精密な計算結果、臨界点(a)と臨界点以下(b) （ 1987 ）

4.　構造ガラスにおける「ボソン・ピーク」の起源に関する研究

　ガラスは、五千年あまり昔のメソポタミアで作られた人類初の人工合成物であるが、近年 DVD への実用化や IT 関連材料などとしてあらたな注目を集めている。ガラスは融液を急冷しガラス転移温度 T_g を経由して得られ、乱れた構造と準安定性により特徴づけられる。これらのガラスでは、THz 振動数領域において通常の不規則系では見られない特異なモード、いわゆるボソン・ピークが出現する。ラーマン散乱実験による最初の発見は、1953 年にインドのクリシュナンによりなされた。そして比熱や熱伝導にも通常の不規則系では見られない特異な性質が見いだされた。構成原子によることなく普遍的に見いだされるボソン・ピーク発現の物理的機能を明らかにすべく、これまで国内外において多くの研究がなされてきた。中山は 1998 年に、異なる系に共通する特性のみを抽出した簡単なモデルを提唱し、この特異なモードが局在した光学モードのフラットバンドによるものであることを明らかにした。この予言は、1999 年に、J-RARC の新井正敏らによる、高分解能コヒ−レント中性子非弾性散乱実験で実証された。この分野の展開は、著名な総合報告誌「Reports in Progress in Physics」の 65 巻(2002) pp.1195-1242 に「Boson peak and terahertz frequency dynamics in vitreous silica」のタイトルのもとで出版された。



　図の説明：動的構造因子 S(q, ω)の計算結果．ボソン・ピークが、音響フォノン・バンドの中に出現することを最初に示したもの．(1998)

5) その他、主要なものとして

^{3}He 偏極スピンの生成に関する研究、光導波路の大規模数値解析アルゴリズム開発に関する研究、高温超伝導体における超伝導・絶縁体転移に関する研究、2 次元電子系における金属・絶縁体転移に関する研究、強相関コロイド粒子系のフラクタル凝集、に関する研究など物性一般に関わる多岐の研究がある。

参考文献

1．著名な総合報告誌（5 編）

1. T. Nakayama, K. Yakubo, and R. Orbach
   Dynamical properties of fractal structures: scaling, numerical simulations and physical realizations
   Rev. Mod. Phys. Vol.66, No. 2, pp. 381-443 (1994).
2. T. Nakayama
   Kapitza thermal boundary resistance and interactions of helium quasiparticles with surfaces Progress in Low Temperature Physics vol.XII edited by D. F. Brewer (Elsevier Science Publishers B. V., Amsterdam, 1989) pp.115-194.
3. T. Nakayama and K. Yakubo
   The forced oscillator method: Eigenvalue analysis and computing linear response function, Physics Reports Vol.349, pp.239-299(2001)
4. T. Nakayama
   Boson peak and terahertz frequency dynamics in vitreous silica
   Reports on Progress in Physics Vol.65, pp1195-1242(2002)
5. T. Nakayama
   Fractal structures in condensed matter physics
   Encyclopedia of Complexity and Systems Science, pp. 3878-3893, Springer-Verlag, (2009)

2．関連する主要論文(10編)

1. The Kapitza Thermal Resistance and Tunneling States of Helium Atoms
   T. Nakayama J. Phys. C Vol.17, p.3273 (1977).
2. Magnetic Versus Nonmagnetic Mechanism for Thermal Boundary Conductance at Millikelvin Temperatures

T. Nakayama
J. Phys. Soc. Japan. Vol.55, p.1054 (1986)

3. Absence of the Hump in the Density of States of Percolating Clusters, K. Yakubo and T. Nakayama
Physical Review B Vol. 36 (16): pp. 8933-8936 (1987).

4. Magnetic Channel of the Kapitza Resistance for a Dilute ^3He-^4He Solution at Temperatures below 1mK
T. Nakayama
Phys. Rev. B 37, p.5958 (1988)

5. Fracton Dynamics of Percolating Elatic Networks: Energy-Spectrum and Localized Nature,
K. Yakubo and T. Nakayama
Physical Review B Vol. 40(1): pp.517-523(1989).

6. Missing Modes in the Density of States of Fractal Networks
K. Yakubo, E. Courtens and T. Nakayama
Phys. Rev. B 42, No.1, p.1078 (1990).

7. Analysis of a New Method for Finding Eigenmodes of Very Large Lattice Systems
K. Yakubo, T. Nakayama, and H. J. Maris
Journal of the Physical Society of Japan, Vol. 60 (10): pp. 3249-3259 (1991).

8. Computing the Kubo Formula for Large Systems
T. Nakayama and H. Shima
Phys. Rev. E 58, p.3984 (1998)

9. Low-energy Excitations in Water: A Simple-model Analysis,
T. Nakayama
Physical Review Letters, Vol. 80(6), pp.1244-1247(1998).

10. Critical Sheet Resistance Observed in High-T_c Oxide Superconductor $Nd_{2-x}Ce_x CuO_4$ Thin Films,
S. Tanda, M. Honma, and T. Nakayama Physical Review B, Vol. 43 (10): pp. 8725-8728 (1991).

論文リスト

1. 著書・ 単行本

- 「物理数学(I)」 裳華房 中山恒義, pp. 1-204, 2001
- 「物理数学(II)」 裳華房 中山恒義, pp.1-163, 2001
- 「Fractal Concepts in Condensed Matter Physics」(Springer-Verlag, Berlin, 2003) T. Nakayama and K..Yakubo, pp.1-206, ISBN 978-3-540-05044-5, Hardcover
- 「Higher Mathematics for Physics and Engineering」(Springer-Verlag, Berlin, 2009) T. Nakayama and H. Shima，pp.1-725, 450illus., ISBN: 978-3-540-87863-6, Hardcover,
- 「電磁気学 I」中山恒義 丸善株式会社、2012 年（出版予定）
- 「電磁気学 II」中山恒義 丸善株式会社、2012 年（出版予定）

2．著書・ 分担執筆

- T. Nakayama, Progress in Low Temperature Physics XII(North-Holland、Amsterdam), Kapitza thermal resistance and interaction of He quasiparticles, 1989
- T. Nakayama, Computational Physics as a New Frontier in Condensed Matter Research (The Physical Society of Japan, Tokyo)、Computing very large matrices: The forced oscillator method, 1995
- T. Nakayama, 35Years of Condensed Matter and Related Physics (Proceedings of the Raymond L. Orbach Symposium, World Scientific, Singapore), Critical dynamics of diluted Heisenberg antiferromagnets, 1996
- T. Nakayama, S. Tamura and T. Yagi, PHONONS 95 (Elsevier, Amsterdam) 会議録 1996
- T. Nakayama, Encyclopedia of Complexity and System Science (Springer-Verlag), Fractal structures in condensed matter physics, 2009
- 物理学最前線 16 巻（共立出版）、異常なカッピツァ抵抗、中山恒義, 1986
- 超音波スペクトロスコピー「基礎編」(培風館), 超高周波フォノン, 中山恒義, 1990
- 弾性波素子技術ハンドブック（オーム社）、超高周波フォノン, 中山恒義, 1991
- 物理学辞典改訂版（培風館）カピッツア抵抗、中山恒義, 1992

3．国際会議・ ワークショップ招待講演

1. ”Theoretical aspects for anomalous Kapitza resistance”, International Workshop on Dynamical Properties of Solids and Solid Surfaces”, Stressa, Italy, 1978.
2. ”Kapitza thermal resistance and adsorbed He atoms on solid surfaces”, 37th Annual Meeting of Physical Society of Japan, Sapporo, Japan, 1982.
3. ”Kapitza thermal boundary resistance between liquid ^{3}He and metal particles”, 4th International Conference on Phonon Scattering in Condensed Matter, Stuttgart, West Germany, 1983.
4. ”Diffuse scattering of high frequency phonons at liquid He-Solid interfaces”, 38th Annual Meeting of Physical Society of Japan, Toyama, Japan, 1984.
5. ”Kapitza thermal resistance at mK temperatures”, Workshop on Theoretical Aspects on Quantum Liquids and Solids, Izu, Japan, 1985
6. ”High frequency phonons and liquid He-solid interfaces”, 39th Annual Meeting of Physical Society of Japan, Kyoto, 1985
7. ”Scattering of high frequency phonons at liquid He-solid interfaces”, Workshop on Ultrasonic Spectroscopy, Sendai, Japan, 1985
8. ”Anomalous energy transfer at liquid He-solid interfaces”, Workshop on Quantum Liquids and Solids, Izu, Japan, 1986
9. ”Thermal boundary resistance for ^{3}He-^{4}He dilute solution: Magnetic and nonmagnetic channel”, The 42th Annual Meeting of Physical Society of Japan, Sendai, 1987.
10. ”High frequency phonons and its application to microelectronics”, Workshop on Ultrasonic Spectroscopy, Tokyo, Japan, 1987
11. ”The Kapitza resistance: A barrier for cooling of mixture down to T_c”, International Symposium on Ultra-Low Temperature Physics, Nagoya, Japan, 1987
12. ”Cooling of ^{3}He-^{4}He mixture and Kapitza boundary resistance”, Workshop on Quantum Liquid and Solids, Izu, Japan, 1988
13. ”Percolating networks and fracton dynamics”, Workshop on Computer Physics, Tokyo, Japan, 1989
14. ”Kapitza resistance between ^{3}He-^{4}He mixture and sintered powder”, Workshop on Very Low Temperature Physics, Tokyo, Japan, 1989
15. ”New aspects of fracton dynamics from Supercomputer simulations”, 3rd International Conference on Phonon Physics, Heidelberg, West Germany, 1989
16. ”Vibrational excitations in fractals and disordered systems”, 45th Annual Meeting of Physical Society of Japan, Gifu, 1990.
17. ”Missing modes in fractal networks”, Workshop on Computer Physics, Tokyo, 1990

18. ”Dynamical properties of fractal networks, Workshop on Random Patterns and Fractal Structures”, Tokyo, Japan, 1990
19. ”Inelastic light scattering by fractal structures”, 46th Annual Meeting of Physical Society of Japan, Sapporo, Japan.
20. ”Fractons in percolating networks”, Workshop on Pulsed Neutron Scattering in Condensed Matter, Tsukuba, Japan, 1991
21. ”Dynamics of random fractals: Large-scale simulations”, International Conference on Fractals and Disordered Systems, Hamburg, Germany, 1993.
22. ”Fracton dynamics: Large-scale simulations”, International School on Soft Order in Physical Systems (NATO Advanced Workshop), Les Houches, France, 1993.
23. ”Vibrational problems of fractal networks”, International Conference on the Complex Geometry in Nature, Budapest, Hungary, 1993.
24. ”Strong localization of light waves”, 49th Annual Meeting of Physical Society of Japan, Okayama, 1993
25. ”Strong localization of photons in aperiodic optical waveguide”, 54th Annual Meeting of Applied Physics Society of Japan, Sapporo, 1993
26. ”Physics of fractons”, 50th Annual Meeting of Physical Society of Japan, Fukuoka, 1994
27. ”Phonon physics and its recent aspects”, 15th Symposium on Ultrasonic Electronics, Kyoto, 1994
28. ”Fractons: Scaling and Simulation”, The Raymond L. Orbach Symposium: 35 Years of Condensed Matter and related physics, Riverside, U. S. A. 1995
29. ”Strongly Disordered Systems and Scaling”, The 34th Kaya Conference, Oirase,1996
30. ”Water: its peculiar dynamics”, The International Workshop on JHF Science(JHF98), Tsukuba, 1998
31. ”The boson peak in network-forming glasses”, Mini-Symposium on Spin glass and Structural Glass Dynamics, Riverside, 1998
32. ”The origin of the boson peak in network-forming glasses”, 9th International Conference on Phonon Scattering in Condensed Matter, Lancaster, 1998
33. ”Low energy peculiar dynamics in glasses”, 54th Annual Meeting of Physical Society of Japan, Okinawa, 1998
34. ”The boson peak in network-forming glasses”, International symposium in spin glasses and structural glasses dynamics, Riverside, 1998
35. ”The forced oscillator method: Its principle and applications”, Riken Symposium on

Large-Scale Calculation of Electronic States: Exploring Dynamical Properties of Materials, Wakou, 1999

36. ”Glasses: Dynamics at THz Frequencies and Below”, 2nd International RIES Symposium, Sapporo, 2001
37. ” Dynamics of Network Glasses at THz frequencies”, 4th International Discussion Meeting on Relaxation Phenomena in Complex Systems, Creta, 2001
38.” The Physical Origin of the Boson Peak in Structural Glasses”, 57th Meeting of Physical Society of Japan, Kusazu, 2002
39. “Development in Physics of Disordered Systems”, International Symposium on Pulsed Neutron Science, Izura, 2003
40. “Recent Development in Physics of Disordered Systems”, 3rd international RIES Symposium on New Trends of Physics, Sapporo, 2003
41. ”Effects of Dipole Interactions of Quantum Rotors in Cold Glasses”, International Workshop on Collective Phenomena in the Low Temperature Physics of Glasses, Dresden, 2003
42. “Interacting Quantum Rotors in Oxygen-doped Ge”, Quantum Aspects in Solids, Hong Kong, 2005
43. “Fractal Concepts and Condensed Matter Physics” Meeting on Frontier of Material Sciences, Shanghai, 2006

44 “Dynamics of Fractal Structures Proved by Neutron Scattering Experiments“, Symposium on New Trends on Neutron Scattering Research, Sapporo, 2007

45. “ Inelastic Neutron scattering and THz Dynamics of Structural Glasses”, Meeting of Neutron Scattering Society, Fukuoka, 2007
46. “35Years of Physics on Complex Disordered Systems”
    Symposium on Complex Systems and those Dynamics, Sapporo, 2007
47. “Peculiar Dynamics Stemming from Network/Guest Atom Systems”,
    Symposium on Rattling Vibrations and Related Physics, Hisoshima, 2008
48. “THz Frequency Dynamics of Network Glasses”,
    International Symposium on Spallation Pulse Source (Mito, March, 2008).
49. “Symmetry- broken Clathrate Compounds vs. Complex Disordered Systems at THz Frequencies and below”
    International Work-Shop on Possible Scientific View from New Neutron Spectroscopy Opportunity in J-PARC, Tokai, 2009

Etc

4. 業績リスト

- **Complex Disordered Systems/Glasses**

1. T. Nakayama
   Tunneling States in the Amorphous Thin Films at Low Temperatures: Thermal and Acoustical Properties of Amorphous Thin Films
   Phys. Rev. B 14. 4670 (1976).
2. T. Nakayama
   Surface-Phonon-Assisted Tunneling in the Two-dimensional Amorphous Systems at Low Temperatures
   Solid State Commun. 20, 7211 (1976).
3. T. Nakayama and R. L. Orbach
   On the increase of thermal conductivity in glasses above the plateau region
   Physica B 263&264, pp.261-263 (1999).
4. T. Nakayama
   Strongly localized modes as the origin of the Bose peak in glasses
   Physica B 263&264, pp.243-247 (1999).
5. M. Yamaguchi , T. Nakayama, and T. Yagi
   Effects of high pressure on the Bose peak in a-GeS2
   Physica B 263&264, pp.258-260 (1999).
6. T. Nakayama and R. Orbach
   Anharmonicity and thermal transport in network glasses
   Europhys. Lett. 47(4), pp.468-473 (1999).
7. T. Nakayama
   Microscopic buckling and low-energy dynamics in glasses
   J. Phys. Soc. Jpn. 68(11), pp.3540-3555 (1999).
8. T. Nakayama
   Boson peak and terahertz frequency dynamic in vitreous silica
   Reports on Progress in Physics 65, pp. 1195-1242 (2002).
9. T. Nakayama
   Microscopic buckling as an origin of the boson peak in network glasses
   Physica B316, pp. 497-499 (2002).
10. T. Nakayama
    The role of buckled molecules for THz dynamics of network glasses
    J. Non-Cryst. Solids 307, pp. 73-79 (2002).
11. W. J. Tian, T. Nakayama, J. P. Huang, and K. W. Yu
    Scaling behaviors in settling processes of fractal aggregates in water
    Europhysics Letters 78: 46001-p.1-5, 2007

12. T. Nakayama and E. Kaneshita,
Interacting Dipoles in Type-I Clathrates: Why glass-like though Crystalline?,
Europhysics Letters, Vol.84(2008) 66001-pp.1-5.
13. E. Kaneshita and T. Nakayama,
Glass-like Thermal-transport in Symmetry-Broken Clathrates,
Europhysics Letters, Vol. 86(2009) 56004-pp.1-6.
14. T. Nakayama,
THz Frequency Dynamics of Network/guest Atom Systems: Liquid Water, Clathrates, and Network Glasses
Nuclear Instr.and Methods in Physics Research, A, Vol. 600(2009) No.1, pp.267-269.
15. T. Nakayama and E. Kaneshita,
Glass-like behaviors of clathrate compounds as thermoelectric materials and their physical origin
Reports of Toyota Physical and Chemical Research Institute, Vol.63 (2010), pp.63-69.
16. T. Nakayama and E. Kaneshita
Significance of Off-center Rattling for Emerging Low-lying THz Modes in Type-I Clathrates
Journal of the Physical Society of Japan, Vol. 80 (2011) 104604-pp.1-7.
17. T. Nakayama and E. Kaneshita
Emergence of Glass-like THz Frequency libration Modes in Type-I Clathrates: Theory
Journal of Physics and Chemistry of Solids (2011), doi:10.1016/j/jpcs- pp.1-5

- **Dynamics of Fractal Structures**

1. K. Yakubo and T. Nakayama
Fractons in Percolation Clusters
Japanese Journal of Applied Physics, vol.26, p.883 (1987).
2. K. Yakubo and T. Nakayama
Absence of the Hump in the DOS of Percolating Clusters
Phys. Rev. B 36, p.8933 (1987).
3. K. Yakubo and T. Nakayama
Superlocalization of Fractons: Direct Observations by Supercomputer
Synergetics 43 (Springer Verlag, Heidelberg), 217 (1989).
4. K. Yakubo and T. Nakayama
Direct Observation of Localized Fractons Excited on Percolating Nets
J. Phys. Soc. Jpn. 58, 1504 (1989).
5. K. Yakubo and T. Nakayama
Fracton Dynamics of Percolating Networks: Energy Spectrum and Localized Nature
Phys. Rev. B 40, 517 (1989).

6. K. Yakubo and T. Nakayama
Perspectives on Fracton Dynamics (in Japanese)
The Monthly Membership Journal of the Physical Society of Japan 44, 833 (1989).
7. T. Nakayama, K. Yakubo and R. Orbach
Characteristics of Fractons: from Specific Realization to Ensemble Averages
J. Phys. Soc. Jpn. 58, 1891 (1989).
8. T. Nakayama
New Aspects of Fracton Dynamics from Supercomputer Simulations
Proc. 3rd Inter. Conf. on Phonon Physics: Phonons 89 (World Scientific Publishing), p.646 (1989).
9. K. Yakubo and T. Nakayama
Density of States of Vector Fractons for Percolating Nets
Proc. 3rd Inter. Conf. on Phonon Physics: Phonons 89 (World Scientific Publishing), p.682 (1989).
10. K. Yakubo and T. Nakayama
Percolating Networks and Fracton Dynamics (in Japanese)
Solid State Physics 25, 141 (1990).
11. K. Yakubo, K. Takasugi and T. Nakayama
Crossover Behavior from Vector to Scalar Fractons in the Density of State of Percolating Networks
J. Phys. Soc. Jpn. 59, No.6, 1909 (1990).
12. K. Yakubo, E. Courtens and T. Nakayama
Missing Modes in the Density of States of Fractal Networks
Phys. Rev. B 42, No.1, 1078 (1990).
T. Nakayama and K. Yakubo
13. Density of States of Fractons on Percolating Networks
Proceedings of the Indian Academy of Sciences – Chemical Sciences, 102, No.5, 575 (1990).
14. K. Yakubo and T. Nakayama
Superlocalization of Fracton Wavefunctions Excited on Percolating Networks
Proceedings of the Indian Academy of Sciences – Chemical Sciences, 102, No.5, 581 (1990).
15. K. Yakubo, T. Nakayama and H. J, Maris
Analysis of a New Method for Calculating Single Eigenmode from very Large Lattice Systems
J. Phys. Soc. Jpn. 60, No.10, 3249 (1991).
16. T. Nakayama
Dynamics of Random Fractals: Large Scale Simulations

Physica A 191, 386 (1992).

17. T. Nakayama and K. Yakubo
Dynamical Correlation Function of Fractal Networks: Computer Experiments
American Institute of Physics Conf. Proc. 256, Slow Dynamics in Condensed Matter, edited by K. Kawasaki, M. Tokuyama, and T. Kawakatsu (American Institute of Physics,New York) p.279 (1992).
18. K. Yakubo, T. Terao and N. Nakayama
Spectral Dimension of Percolating Heisenberg Antiferromagnets
J. Phys. Soc. Jpn. 62, No.7, pp.2200-2203 (1993).
19. T. Nakayama and K. Yakubo
Dynamic Structure Factor and Its Single-Length Scaling for Random Fractal Structures
Phonon Scattering in Condensed Matter VII, edited by M. Meissner and R. O. Pohl (Springer-Verlag, Heidelberg, 1993) pp.213-214.
20. T. Nakayama and K. Yakubo
Dynamical Structure Factor and Single-Length Scaling for Random Fractals
J. Phys. Soc. Jpn. vol. 61, 2601 (1992).
21. T. Nakayama
Dynamics of Fractal Structures (in Japanese)
The Monthly Membership Journal of the Physical Society of Japan vol. 48, 528 (1993).
22. T. Nakayama
Vibrational Problems of Fractal Lattices: Large-Scale Simulations (in Japanese)
Kagaku (Science) vol.63, No.9, 576 (1993).
23. T. Nakayama
Vibrational Problems of Fractal Networks
Fractals, vol. 1 No.4, 806 (1993).
24. T. Terao, K. Yakubo, and T. Nakayama
Dynamical Structure Factor of Percolating Heisenberg Antiferromagnets
Fractals, vol. 1 No.4, 917 (1993).
25. K. Yakubo, T. Terao, and T. Nakayama
Antiferromagnetic Fractons and Its Spectral Dimension
Fractals, vol. 1 No.4, 881 (1993).
26. T. Terao, K. Yakubo, and T. Nakayama
Dynamical Structure Factor and its Scaling Property of Percolating Heisenberg Antiferromagnets
Phys. Rev. B 49, No. 17, 12281 (1994).
27. T. Nakayama
Fracton Dimensions for Elastic and Antiferromagnetic Percolating Networks
Soft Order in Physical Systems edited by R. Bruinsma and I. Rabin (NATO ASI Series,

Plenum Press, NY, 1994) pp. 181-185.

28. T. Nakayama, K. Yakubo and R. Orbach
Dynamical Properties of Fractal Networks: Scaling, Numerical Simulations, and Physical Realizations
Rev. Mod. Phys. 66, No.2, 381 (1994).
29. K. Yakubo, T. Terao, and T. Nakayama
Spin-wave Dynamics of Percolating Heisenberg Antiferromagnets
J. Phys. Soc. Jpn. 63, No. 9, 3431 (1994).
30. T. Terao, K. Yakubo, and T. Nakayama
Numerical Method for Large-scale non-Hermitian Matrices and Its Application to Percolating Heisenberg Antiferromagnets
Phys. Rev. E 50, No. 1, 566 (1994).
31. T. Nakayama
Physics of Complex Systems (in Japanese)
Bussei- Kenkyu(Condensed Matter Physics) vol. 63, No. 1 pp. 1-48 (1994).
32. T. Terao and T. Nakayama
On the Double-peak Structure of the Dynamical Structure Factor in Diluted Heisenberg Antiferromagnets
Phys. Rev. B 51, 11479 (1995).
33. T. Nakayama
Elastic Vibrations of Fractal Networks
Jpn. J. Appl. Phys. 34, 2519 (1995).
34. T. Terao and T. Nakayama
Power-law Dependence on Frequency of the Raman-scattering Intensity of Percolating Networks
Phys. Rev. B 53, R2918 (1996).
35. K. Yakubo, M. Nakano, and T. Nakayama
Fracton Decay in Nonlinear Fractal Systems
Physica B 219 and 220, 351 (1996).
36. Y. Hobiki, K. Yakubo, and T. Nakayama
Fractal Drums and the Weyl-Berry-Lapidus conjecture
Physica B 219 and 220, 354 (1996).
37. Y. Hobiki, K. Yakubo and T. Nakayama
Spectral Characteristics in Resonators with Fractal Boundaries
Physical Review E 54 1997 (1996).
38. T. Terao, T. Nakayama, and H. Aoki
Multifractal Analysis of Critical Wavefunctions: Quantum Hall Systems
Solid State Physics Vol. 32, 671(1997), in Japanese.

39. T. Terao an T. Nakayama
Observation of antiferromagnetic fractons: Analysis of inelastic neutron scattering experiments
Phys. Rev. B 66 (13), 132409 (2002).
40. T. Nakayama and T. Terao
Antiferromagnetic fractons observed by inelastic neutron scattering experiments
Journal of Neutron Research 12(4) 263-266(2004)
41. T. Nakayama
Fractal structures in condensed matter physics
Encyclopedia of Complexity and Systems Science, (Springer-Verlag, 2009) pp.3787-3893.
42. S. Itoh, T.Nakayama, R. Kajimoto, and M. A. Adams,
Single-Length-Scaling Analysis for Antiferomagnetic Fractons in Dilute Heisenberg System $RbMn_{0.4}Mg_{0.6}F_3$
Journal of the Physical Society of Japan, Vol. 78 (2009) 013707-pp.1-4.
43. S. Itoh, T. Nakayama, and M. A. Mark
Antiferomagnetic Fractons in Dilute Heisenberg System $RbMn_{0.4}Mg_{0.6}F_3$ and $RbMn_{0.4}Mg_{0.6}F_3$
Journal of the Physical Society of Japan, Vol. 80 (2011) 104704-pp.1-7.
44. S. Itoh, T. Nakayama, and M. A. Mark
Antiferomagnetic Fractons in Percolating Magnets
Neutron Science (in Japanese), Vol.21 (2011), p.234-238.

Localization Problems/High-Tc Superconductors

1. T. Ishibashi and T. Nakayama
Effects of Oxygen stoichiometry for Anisotropic Structural Change in Oriented YBa2Cu3Ox
Jpn. J. Appl. Phys. 27, L1467 (1988).
2. S. Tanda and T. Nakayama
Bose-glass Phase in High-Tc Nd-Ce-Cu-O Thin Films (in Japanese)
Solid State Physics 27, 348 (1992).
3. S. Tanda, S. Ohzeki and T. Nakayama
Bose-glass-Vortex-glass Phase Transition and Dynamic Scaling for High-Tc Nd2−xCexCuO4 Thin Films
Phys. Rev. Lett. 69, 530 (1992).
4. M. Honma, S. Tanda and T. Nakayama
Electron Tunneling into Epitaxial Films of Nd2−xCexCuO4
Appl. Phys. Lett. 61, 1724 (1992).
5. T. Terao, K. Yakubo and T. Nakayama
Localization Exponents of Waves in Percolation Systems

J. Phys. Soc. Jpn. 61, 2173 (1992).

6. M. Takano, K. Yakubo and T. Nakayama
Numerical Achievement of Strong Localization of Light in Optical Waveguides with Aperiodic Grating
Jpn. J. Appl. Phys. 31, L839 (1992).

7. S. Tanda M. Honma and T. Nakayama
Critical Sheet Resistance Observed in High-Tc Oxide-Superconductor $Nd_{2-x}Ce_xCuO_4$ Thin Films
Phys. Rev. B 43, No.10, 8725 (1991).

8. S. Tanda, S. Ozeki, M. Honma, A. Ohi and T. Nakayama
Superconductor-Insulator Transition in $Nd_{2-x}Ce_xCuO_4$ Single Crystal Thin Films
Physica C 185, 1323 (1991).

9. S. Tanda, S. Ohzeki and T. Nakayama
Longitudinal Negative Magnetoresistance in $Nd_{2-x}Ce_xCuO_4$: Evidence for Kondo- like Behavior
Physica B 194-196, 1967 (1994).

10. S. Tanda, K. Takahashi and T. Nakayama
Scaling of the Conductivity of $Nd_2CuO_{4-x-\delta}F_x$ Single Crystals: Experimental Evidence for 2D Fermi Liquid Behavior
Physica B 194-196, 1961 (1994).

11. T. Nakayama, K. Yakubo and M. Takano
Strong Localization of Photons in Aperiodic Optical Waveguides
Phys. Rev. B 47, No.15, 9249 (1993).

12. S. Tanda, K. Takahashi, and T. Nakayama
Scaling Behavior of the Conductivity of $Nd_2CuO_{4-x-\delta}F_x$ Single Crystals: Evidence for Orthogonal Symmetry
Phys. Rev. B 49, No. 13, 9260 (1994).

13. K. Inagaki, S. Tanda, and T. Nakayama
Nonlinear Conductivity of $Bi_2Sr_2CuO_6$ Single Crystals
Physica C 235-240, 1361 (1994).

14. T. Maeno, K. Kagawa, S. Tanda, and T. Nakayama
Macroscopic Quantum Tunneling in $YBa_2Cu_3O_{7-\delta}$ Thin Films
Physica C 235-240, 3321 (1994).

15. T. Terao, T. Nakayama, and H. Aoki
Multifractality of the Quantum Hall Wave Functions in Higher Landau Levels
Physical Review B 54, 10350 (1996).

16. S. Tanda and T. Nakayama
Variable Range Hopping Transport near the Superconductor-Insulator Transition observed

in Nd2−xCexCuO4 Thin Films
Phil. Mag. Lett. 72, 223 (1995).

17. H. Shima and T. Nakayama
    Finite-Time Scaling for the 3d Anderson Transition
    J. Phys. Soc. Jpn. 67, 2189 (1998).
18. S. Tanda, K. Kagawa, T. Maeno, T. Nakayama, K. Yamaya, A. Ohi, and N. Hatakenaka
    Possibility of macroscopic resonant tunneling near the superconductor-insulator transition in YBa2Cu3O7 thin films
    Europhysics Letters. 41, 425 (1998).
19. H. Shima and T. Nakayama
    Critical behavior of ac conductivity near the Anderson transition
    Phys. Rev. B 60(20), pp.14066-14071 (1999).
20. H. Shima and T. Nakayama
    Anderson transition in 3D systems
    Progress of Therotical Physics Supplement 138, pp.515-516 (2000).
21. H. Shima,K. Yakubo, and T. Nakayama
    Dynamic conductivity in a 2D random magnetic field
    Physica B 298(1-4), pp.74-78 (2001).
22. H. Shima, K. Yakubo, and T. Nakayama
    Quantum transport in a long-range random magnetic fields
    Computer Physcis Communications 142(1-3), pp. 424-428 (2001).
23. H. Shima, K. Yakubo, and T. Nakayama
    Quantum-interference effect on AC transport of electrons subject to long-range random magnetic fields
    J. Phys. Soc. Jpn 70(9), pp.2682-2688 (2001).
24. H. Shima and T. Nakayama
    Localization-delocalization transition in one-dimensional electron systems with long-range correlated disorder
    Phys. Rev. B70(7):07516-1-5(2004)
25. H. Shima and T. Nakayama
    Breakdown of Anderson localization in disordered quantum chains
    Microelectronics Journal 36 (3-6): 422-424, 2005
26. H. Shima and T. Nakayama
    Correlation effects of quantum rotors in Ge crystals
    Physica B-Condensed Matter 36: 157-160, 1 2006
27. H. Shima and T. Nakayama
    Metal-insulator transition in 1D correlated disorder
    Topology in Ordered Phase (World Scientific, Singapore) 271-276, 2006

28. S. Nishino, H. Shima, and T. Nakayama,
Peculiar behaviors of excited modes in harmonic chains with correlated disorder,
Journal of Physics, Vol.92 (2007)pp.012156-012160.

● Computational Physics/Numerical Simulations

1. T. Sakuma, T. Nakayama and F. Yoshida
Computer-Simulated Scattering of Envelope Soliton from Impurity and Interface in a One-dimensional Nonlinear Lattice
Proc. 2nd Internl. Conf. on Phonon Scattering in Solids (Plenum, New York) p.51(1976).
2. F. Yoshida, T. Nakayama and T. Sakuma
Computer-Simulated Scattering of Lattice Solitons from Impurity at Free Boundary,
J. Phys. Soc. Jpn. 40, 901 (1976).
3. F. Yoshida, Y. Okwamoto and T. Nakayama
Thermodynamic Properties of Anisotropic Two-dimensional Sine-Gordon Lattice: Size Effect on Phonon Conduction
J. Phys. Soc. Jpn. 50, 1039 (1981).
4. F. Yoshida, Y. Okwamoto and T. Nakayama
Molecular-dynamics Calculations of Two-dimensional Sine-Gordon Lattice
J. Phys. Soc. Jpn. 51, 1329 (1982).
5. H. Kato, Y. Okwamoto and T. Nakayama
Two-dimensional Sine-Gordon Lattice with Fixed Winding Number: A Molecular Dynamics Study
J. Phys. Soc. Jpn. 52, 3334 (1983).
6. T. Nakayama, M. Takano, K. Yakubo and T. Yamanaka
Numerical Method for the Analysis of Optical Waveguides
Optics Lett. 17, No.5, 326 (1992).
7. H. Noro and T. Nakayama
Mode Analysis of Optical Waveguides: A New Approach
Optics Lett. 20, 1227 (1995).
8. Y. Hobiki, K. Yakubo, and T. Nakayama
Spectral Distribution of Drums with Fractal Perimeters: The Weyl-Berry-Lapidus Conjecture
Phys. Rev. E 52, R1310 (1995).
9. T. Nakayama
Computing Very Large Large Matrices: The Forced Oscillator Method
Computational Physics as a New Frontier in Condensed Matter Research, edited by H. Takayama et al. (The Phys. Soc. Jpn., Tokyo, 1995) pp. 21-33.
10. T. Terao and T. Nakayama

An Efficient Method for Computing Response Functions for Large-Scale Vibrational Systems

Physica B 219 and 220, 357 (1996).

11. H. Noro, K. Fukushi, and T. Nakayama
    Molecular Dynamics Approach to the Mode Analysis of Optical Waveguides
    Japanese J. Appl. Phys. 35, 3226 (1996).
12. H. Noro and T. Nakayama
    A New Approach to Scalar and Semivector Mode Analysis of Optical Waveguides
    J. Lightwave Technology 14, 1546 (1996).
13. H. Noro and T. Nakayama
    Unusual Molecular-Dynamical Method for Vector-Wave Analysis of Optical Waveguides
    J. Opt. Soc. Am. (A) 14,1451(1997).
14. H. Noro and T. Nakayama
    New Algorithm for the Mode Analysis of Optical Waveguides
    The Member Journal of the Japan Society of Applied Physics, Vol. 67, 444 (1998).
15. T. Nakayama and H. Shima
    Computing the Kubo Formula for Large Systems
    Phys. Rev. E 58, 3984 (1998).
16. T. Nakayama and H. Shima
    The forced oscillator method: Its applications to physical systems
    RIKEN Review, 29(6), pp.16-19 (2000)
17. T. Nakayama
    The forced oscillator method and the Kubo formula
    Progress of Theoretical Physics, Supplement 138, pp.60-65 (2000).
18. T. Nakayama and K. Yakubo
    The forced oscillator method: Eigenvalue analysis and computing linear response function
    Physics Reports 349, pp.239-299 (2001).
19. H. Shima, H. Obuse, K. Yakubo, and T. Nakayama
    The forced oscillator method incorporating the fast time-evolution algorithm
    Computer Physics Communications 142(1-3), pp. 418-423 (2001).
20. H. Shima and T. Nakayama
    Acceleration of the forced oscillator method and its application to a model for glasses
    Physica B316, pp. 521-523 (2002).

- **Low Temperature Physics**

1. T. Nakayama
   New Mechanism for the Kapitza Resistance

Proc. 6th Internl. Conf. on Internal Friction and Ultrasonic Attenuation in Solids. (University of Tokyo Press) p.381 (1977).

2. T. Nakayama
Tunneling as a Mechanism for the Kapitza Resistance
Scientific Bulletin 2, 19 (1977).

3. T. Nakayama
The Kapitza Thermal Resistance and Tunneling States of Helium Atoms
J. Phys. C 17, 3273 (1977).

4. T. Nakayama
Tunneling as a Mechanism for the Anomalous Kapitza Resistance
J. de Physique 39, C6-256 (1978).

5. T. Nakayama
Perspectives on Kapitza Resistance (in Japanese)
The Monthly Membership Journal of the Physical Society of Japan 33, 408 (1978).

6. T. Nakayama
Kapitza Thermal Resistance (in Japanese)
Solid State Physics 15, 329 (1980).

7. T. Nakayama and F. W. Sheard
Absorption of Surface Phonons by Adsorbed Helium System on an Inhomogeneous Surface
Proc. 3rd Internl. Conf. on Phonon Scattering in Condensed Matter (Plenum, New York) p.239 (1980).

8. T. Nakayama and N. Nishiguchi
Theory of Thermal Boundary Resistance between Small Particles and Liquid Helium: Size Effect on Phonon Conduction
Phys. Rev. B 24, 6421 (1981).

9. N. Nishiguchi and T. Nakayama
Theory of Thermal Boundary Resistance between Small Particles and Liquid Helium II: Normal Liquid 3He
Phys. Rev. B 25, 5278 (1982).

10. N. Nishiguchi and T. Nakayama
Thermal Resistance between Sintered Power-Liquid He3 Boundary
Solid State Commun. 45, 877 (1983).

11. T. Nakayama
Thermal Boundary Resistance between Small Particles and Liquid 3He
Proc. 4th Internl. Conf. on Phonon Scattering in Condensed Matter, (Springer, Berlin) p.155 (1984).

12. T. Nakayama

Magnetic Kapitza Resistance and Surface Random Spins
Phys. Rev. B 29, 1436 (1984).
13. S. Saito, T. Nakayama and H. Ebisawa
Search for Magnetic Coupling between Adsorbed 3He and Small Copper Particles
Phys. Rev. B 31, 7475 (1985).
14. T. Nakayama
Diffuse Scattering of High-Frequency Phonons at Solid Surfaces
Phys. Rev. B 32, 777 (1985).
15. T. Nakayama
New Channels of Energy Transfer across a Solid-Liquid He Interface
J. Phys. C 18, L667 (1985).
16. T. Nakayama
Anomalous Kapitza Resistance at Millikelvin Temperatures (in Japanese)
The Monthly Membership Journal of the Physical Society of Japan 40, 956 (1985).
17. T. Nakayama
Magnetic Versus Nonmagnetic Mechanism for Thermal Boundary Conductance at Millikelvin Temperatures
J. Phys. Soc. Jpn. 55, 1054 (1986).
18. T. Nakayama
Scattering of High-Energy Phonons at Irregular Surfaces without and with Liquid Helium
Phys. Rev. B 33, 8664 (1986).
19. T. Nakayama and K. Yakubo
Damping of Phonons by Metal Particles Embedded in an Insulating Matrix
Solid State Science 68 (Springer-Verlag, Heidelberg), 94 (1986).
20. T. Nakayama and K. Yakubo
Interaction between Phonons and 3He-quasiparticles in the 3He-4He Mixture Confined in Porous Media
Solid State Science 68 (Springer-Verlag, Heidelberg), 237 (1986).
21. T. Nakayama and K. Yakubo
Kapitza Resistance between Sintered Particles and He3-He4 Mixture
Jpn. J. Appl. Phys. 26, 375 (1987).
22. T. Nakayama
Magnetic Channel of the Kapitza Resistance for a Dilute 3He-4He Solution at Temperatures below 1mK
Phys. Rev. B 37, 5958 (1988).
23. T. Nakayama
Kapitza Thermal Boundary Resistance and Interactions of Quasiparticles with Surfaces
Progress in Low Temperature Physics XII (North-Holland Publishing, Amsterdam)

p.115-191 (1989).

24. A. Ohi and T. Nakayama
    Spin-Polarization Enhancement of Dilute 3He-4He Solutions through Porous Media
    Phys. Rev. B1, 41, No.10, 7281 (1990).
25. A. Ohi and T. Nakayama
    Diffusion of 3He Quasiparticles in Dilute 3He-4He Solution Confined in Porous Media
    Phys. Rev. B1, 41, No.10, 7322 (1990).
26. A. Ohi and T. Nakayama
    Percolative Diffusion of Dissolved 3He Atoms in He II through Porous Media
    J. Low Temp. Phys. 81, No.5/6, 349 (1991).
27. H. Shima Hand T. Nakayama
    Dielectric anomaly in coupled rotor systems
    Phys. Rev. B 69 (3), 035202 (2004).
28. H. Shima and T. Nakayama
    Orienting coupled quantum rotors by ultrashort laser pulses
    Phys. Rev. A 70 (1), 013401 (2004).
29. H. Shima and T. Nakayama
    Low-temperature anomalies of crystalline Ge with O-impurities
    Journal of Physical Society of Japan 73(9)2464-2468(2004)
30. H. Shima and T. Nakayama
    Glass-like behavior of crystalline Ge with O-impurities at low temperatures
    Phys. Sta. Sol. (c) 1(11) 2884-2887(2004)
31. H. Shima and T. Nakayama
    Dielectric response of interacting oxygen defects in germanium
    Phy. Stat. Sol. (c)1(11) 2933-2936(2004)
32. H. Shima and T. Nakayama
    Interacting quantum rotors in oxygen-doped germanium
    Physical Review B 71 (15): 155210, 2005
33. 163. H. Shima and T. Nakayama
    Enhanced orientation of interacting polar molecules
    Microelectronics Journal 36 (3-6): 586-588, 2005

- **Soft Matters**

1. T. Terao and T. Nakayama
   Vibrational Dynamics of Cluster-Cluster Aggregations
   Phys. Rev. B 57, 4426 (1998).
2. T. Terao and T. Nakayama
   Sol-gel transition of reversible cluster-cluster aggregations

Phys. Rev. E 58, 3494 (1998).

3. T. Terao and T. Nakayama
Vibrational characteristics of cluster-cluster aggregations
Physica B 263&264, pp.317-320 (1999).
4. T. Terao and T. Nakayama
Crystallization in quasi-two-dimensional colloidal systems at an air-water interface
Phys. Rev. E 60(6), pp. 7157-7162 (1999).
5. T. Terao and T. Nakayama
Light scattering intensity on reversible cluster-cluster aggregations
J. Phys.: Condens. Matter 11, pp. 7071-7078 (1999).
6. T. Terao and T. Nakayama
Localization nature of vibrational excitations on cluster-cluster aggregation
Fractals 7(3), pp. 249-255 (1999).
7. T. Terao and T.Nakayama
Bond-orientational order of 2D colloidal crystal
Progress of Theoretical Physics Supplement 138, pp.386-387 (2000).
8. T. Terao and T. Nakayama
Reversible cluster-cluster aggregation and colloidal gels
Progress of Theoretical Physics Supplement 138, pp.354-359 (2000).
9. T. Terao and T. Nakayama
Effective interaction between highly charged colloidal particles under geometrical confinement
J. Phys.: Condens. Matter, 12, pp. 516-5177 (2000).
10. T. Terao and T. Nakayama
Melting transition of two-dimensional colloidal crystal
Statistical Physics, edited by M. Tokuyama and H. E. Stanley (American Institute of Physics, NY)pp. 235-237 (2000).
11. T. Terao and T. Teraoka, and T. Nakayama
Characteristics of aerosol formation in the free-molecular regime
Fractals, Vol.8, No.3, pp.285-291 (2000).
12. T. Terao and T. Nakayama
Monte Carlo study of attractive interaction between charged colloids
Studies in Surface Science and Catalysis 132, edited by Y. Iwasawa et al. (Elsevier Science B. V., Amsterdam), pp.379-382 (2001).
13. T. Terao and T. Nakayama
Interparticle force between like-charged colloidal systems: A numerical study
Colloids and Surfaces 182, pp.299-304 (2001).
14. T. Terao and T. Nakayama

Charge inversion of colloidal particles in an aqueous solution: Screening by multivalent ions
Phys. Rev. E 63, pp. 41401-1-6 (2001).

15. T. Terao and T. Nakayama
Adsorption of colloidal particles on a charged surface: Cluster Monte Carlo simulations
Phys. Rev. E 65(2), pp. 21405-1-21405-5 (2002).
16. T. Terao and T. Nakayama
Interparticle force between like-charged colloidal systems: A numerical study
Colloids and Surfaces 182, pp.299-304 (2001).
17. T. Terao, T. Ikeda, and T. Nakayama
Crossover phenomena in flocculation of colloidal suspensions: the effect of shear flow
Physica A 320, pp.77-83 (2003).
18. T. Terao and T. Nakayama
Molecular dynamics study of dendrimers: Structure and effective interaction
Macromolecules 37 (12), pp.4686-4694 (2004).

- **Phonon Physics**

1. T. Nakayama, Y. Ikeda and A. Odajima
A Valence Force Treatment of the Lattice Dynamics of Tellurium
J. Phys. Soc. Jpn. 30, p.805 (1971).
2. T. Sakuma and T. Nakayama
A Comment on Phonon-Mass Defect Scattering
Lett. Nuovo Cimento 2, p.701 (1971).
3. T. Nakayama and T. Sakuma
Resonance in Surfon-Mass Defect Scattering
Lett. Nuovo Cimento 2, p.1104 (1971).
4. T. Nakayama and A. Odajima
A Modified Valence Force Field Approach to Lattice Dynamics of Trigonal Selenium
J. Phys. Soc. Jpn. 33, p.12 (1972).
5. T. Nakayama and A. Odajima
Applicability of a Valence Force Field Model to the Lattice Vibrations of Trigonal Selenium
J. Phys. Soc. Jpn. 34, p.732 (1973).
6. T. Sakuma and T. Nakayama
Attenuation of Elastic Surface Waves by Anharmonic Interactions at Low Temperatures
Appl. Phys. Lett. 25, p.176 (1974).
7. T. Sakuma and T. Nakayama
Attenuation of Elastic Surface Waves by Anharmonic Interactions
Jpn. J. Appl. Phys. Suppl. 2 Pt.2, p.893 (1974).

8. T. Nakayama and T. Sakuma
Damping of Elastic Surface Waves by Density Fluctuation on Solid Surfaces
J. Appl. Phys. 46, p.2445 (1975).
9. T. Nakayama and T. Sakuma
Surface Phonon Scattering by Density Fluctuation on Solid Surface
Proc. 2nd Inter. Conf. on Phonon Scattering in Solids (Plenum, New York) p.49 (1976).
10. T. Nakayama and T. Sakuma
Damping of Elastic Surface Waves by Density Fluctuation on Solid Surfaces II
J. Appl. Phys. 4, p.2263 (1976).
11. T. Nakayama, M. Narita and T. Sakuma
Elastic Surface Wave Attenuation by Surface Inhomogeneities
Proc. 6th Internl. Conf. on Internal Friction and Ultrasonic Attenuation in Solids.
(University of Tokyo Press) , p.353 (1977).
12. M. Narita, T. Sakuma and T. Nakayama
The Attenuation of Elastic Waves by Surface Inhomogeneities: Rayleigh Waves
J. Appl. Phys. 49, p.5507 (1978).
13. T. Nakayama and T. Ogawa
A Variational Approach to Dynamics of Simple Ionic Crystals at High Temperatures
Zeitschrift fuer Physik B 36, 13 (1979).
14. T. Sakuma, T. Nakayama, and S. Tamura
Surface Mode Phonons (in Japanese)
The Membership Journal of the Applied Physics Society of Japan 49, p.852 (1980).
15. T. Nakayama and S. Tamura
Acoustic Imaging at Ultra-High Frequencies, edited by Y. Wada, p.187-192 (1987).
16. T. Nakayama
High-Frequency Phonons (in Japanese) , Acoustic Wave Devices 1991, p.405.